

～調査結果から～

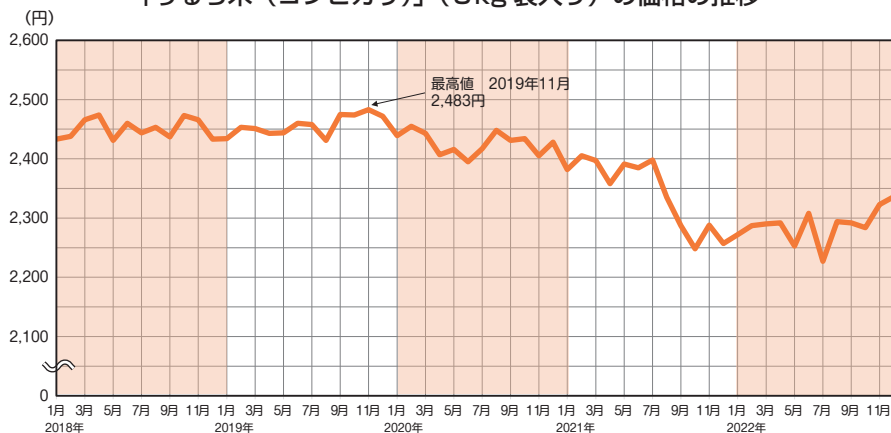
小売価格の推移（東京都区部）

うるち米

2018年から2022年までの「うるち米（コシヒカリ）」の価格推移をみると、2018年及び2019年は横ばい傾向でしたが、2020年から2021年に下落し、その後は横ばい傾向となっています。

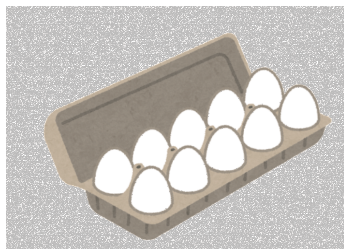


「うるち米（コシヒカリ）」（5kg 袋入り）の価格の推移



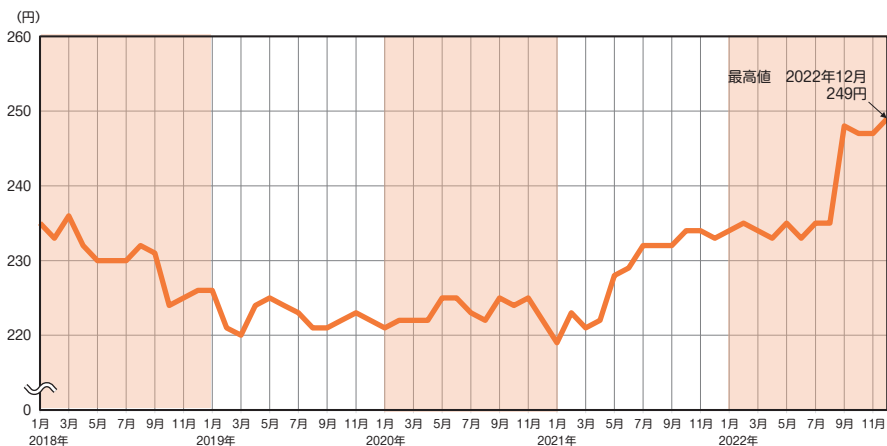
小売価格の推移（東京都区部）

鶏卵



2018年から2022年までの「鶏卵」の価格推移をみると、2018年から2020年にかけては下落もしくは横ばいの傾向が続いていましたが、その後は上昇傾向が続き、2022年12月は249円となりました。

「鶏卵」（1パック）の価格の推移



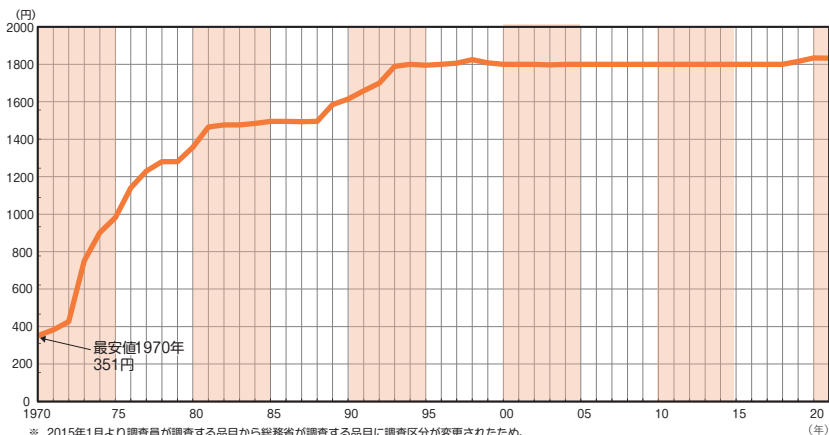
小売価格の年次推移（東京都区部）

映画観覧料

映画観覧料の価格の長期的な推移をみると、調査を開始した1970年当時は351円でした。その後は70年代と90年前後に上昇しましたが、93年以降は長らくほぼ横ばいとなっています。



「映画観覧料」（1回）の価格の年次推移



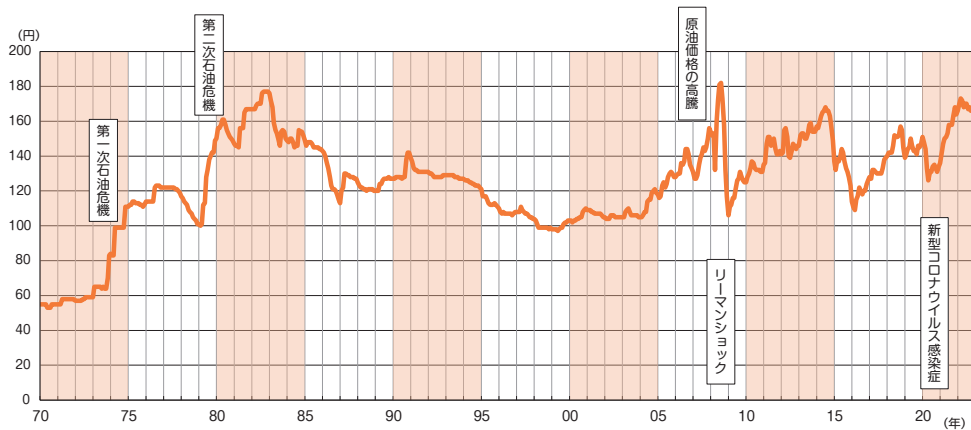
小売価格の推移（東京都区部）

ガソリン

ガソリンの価格の長期的な推移をみると、国外を含めた様々な社会情勢等により、価格が大きく上昇、下落していることがわかります。



「ガソリン（レギュラー）」（1L）の価格の推移



都道府県別の物価水準

2021年平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が104.5と最も高く、次いで神奈川県（103.0）などとなっています。

一方、最も低いのは宮崎県（96.2）で、次いで群馬県（96.6）などとなっており、宮崎県は4年連続で最も低い都道府県となっています。

消費者物価地域差指数（総合）（都道府県）（全国平均＝100）

